

10月1回
より

冷凍品の保冷方法変更のご案内



発行日：2024年9月23日

いつも生協をご利用いただきありがとうございます。

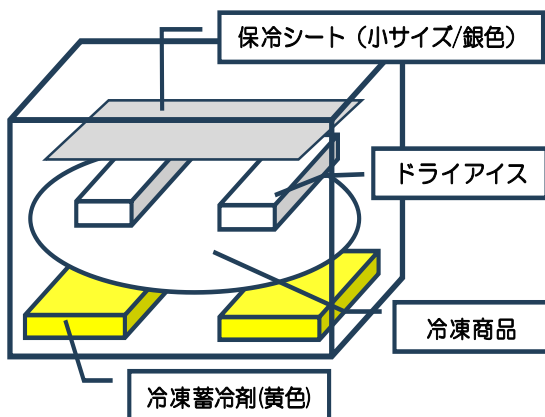
鳥取県生協では、現在配送時やココステーションでの冷凍品の保冷方法は、ドライアイスと冷凍蓄冷剤（黄色）との併用運用を行い、大切な商品の品温維持につとめてまいりました。

環境への配慮（二酸化炭素の排出抑制）、またお子さんがドライアイスに触る危険性（低温やけど等）、ならびに国内でのドライアイス原料の慢性的な不足などを考慮し、10月1回（9月30日）よりドライアイスを使用しない、冷凍蓄冷剤のみでの冷凍品のお届け（職場班やご不在/お留守の班でのセット時）へと変更させていただくこととなりました。

～ 冷凍品の保冷(お届け)方法 ～

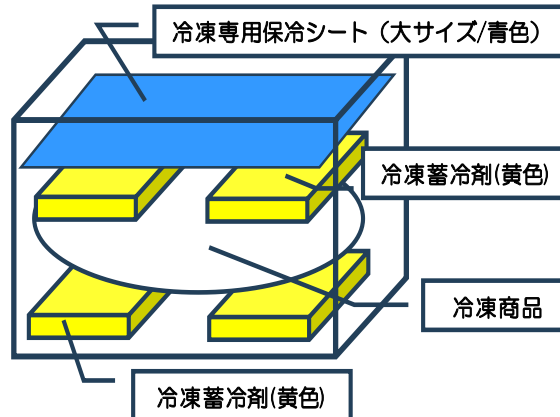
保冷箱へのセット
(保冷)イメージです！

現在の保冷方法



現在は、冷凍蓄冷剤を底に2枚セットし、ドライアイスの商品の上にセットしています。

変更後の保冷方法



今後は、保冷箱の上下に冷凍蓄冷剤を2枚ずつ、合計4枚の蓄冷剤をセットさせていただき、冷凍専用の保冷シート（青色）で密封し保冷効果をより維持させていただきます。

～ 冷凍蓄冷剤(黄色)の特徴 ～



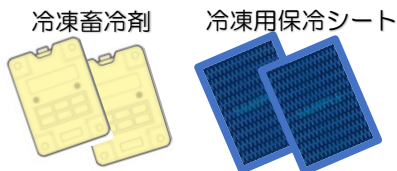
家庭用冷凍庫では凍結しない冷凍品専用の蓄冷剤（黄色）です。保冷効果は、ドライアイスより長時間持続する特徴があります。またドライアイスと違い、繰り返し使用ができる、凍結状態でも安心して使用できます。（触っても低温やけどをしにくいのが特徴です。）

※凍結を色変化で確認できます。白色（凍結状態）黄色（凍結力低下/解凍状態）

※冷凍蓄冷剤の周り約2cm以上黄色（解凍）の状態のものは投入しません。

ご不在・職場班でご利用の皆さんへ

- 商品を持ち帰られる際、他の組合員さんの冷凍商品がある場合は、袋の上に2枚蓄冷剤をセットし、保冷シート（青）で中蓋をお願いします。
- 冷凍蓄冷剤と保冷シートは、必ずご返却をお願いします。



組合員の皆さんの大切な商品ですので、冷凍蓄冷剤の信頼性は当生協でも数年にわたり、品温実験等の検証を重ね実践に至っています。

ご不明な点などございましたらお手数ですが地域担当者、若しくは問合せセンターまでご連絡をお願い致します。

鳥取県生協 問合せセンター 0120-225-196